

CRYOSTAT操作方法

1、ロックを解除する；Key switch を5秒以上押す。

2、照明をつける；Chamber illumination を押す。

3、温度の設定をする；Roll button を1回押し、矢印ボタンで変更する。

例) 切りたい切片の厚さと設定温度：20 μm →-15℃、10 μm →-20℃、5 μm →-26℃

*サンプルによって切りやすい温度が異なる。

4、試料をセットする

① 試料台に OTC-Compound をたらし、試料をくっつける。

② 試料台をフォルダーにセットして長いネジで固定する。試料の向きを長いネジで決定し、短いネジで固定する。

5、ナイフ、ナイフステージを調整する

① ナイフステージの位置、逃げ角（4℃）を調整する。

② ナイフステージ右のレバーを緩め、ホルダーにナイフをセットする。

③ ナイフの押さえプレートの圧力を適当にする。

・ナイフをホルダーの中央にセットし、レバーを緩めたままプレートのネジを左右ともネジが軽く回らなくなるまで閉める（レバーが動かなくなる）。

・ネジを左右均等に緩め、レバーを動かしてみる。この時レバーの動きがかたかった場合、さらに左右のネジを均等に緩める。

④ 試し切りをする。うまく切れない場合、調整し直す。

6、面だしをする

① 試料をナイフに近付ける。；チャンバー左側にあるコントロールパネルの (微動), (粗動) を押す。

② トリミング厚を設定する。； を押し、, で厚さを設定する。このとき実際にトリミングされる厚さは「薄切厚(チャンバー内で切り替え)+トリミング厚」である。

③ サンプルが出てくるまで切る。

7、アンチロールをセットする

① アンチロール板の先がナイフよりほんの少し飛び出るくらいにネジで調整する。

*アンチロールを使用せずに、刷毛などで試料をのぼすこともできる。

8、薄切する

① を解除し、薄切する厚さを確認する。

② モーター機能を使う。

- ・ 試料をナイフの上（切りはじめの位置）にもってきて矢印ボタンを押す→試料をナイフの下（切り終わりの位置）に移動させてもう一度矢印ボタンを押す→**3**のボタンを選択し、フットスイッチ（もしくは **RUN STOP** / **RUN ENABLE** ボタン同時）を1回押すと試料が自動的に動いて1回薄切される。

③ スライドグラスに切片をのせ、乾燥させる。

9、片づけ

① 試料を取り外す。；使用済みナイフで試料を試料台から剥がしとる。

*その試料を保存する場合はあらかじめ薄切面を OCT-compound で覆い、アルミホイルで包んでデュープフリーザーで保存する。

② チャンバー内を掃除する。；切りくずを集めゴミ箱にすて、エタノールで汚れを拭き取る。

③ ハンドルをロックし、チャンバー内の温度を -1.5℃ に設定する。

④ 照明を消し、Key switch をおしてロックする。

10、ポイント

★うまく切片が切れない時

① チャンバー内の温度を確認する。

- ・ 設定温度より高くなっている→チャンバーのふたを閉じて下がるのを待つ
- ・ 試料や薄切する厚さに適した温度に設定する。

② ナイフを確認する。

- ・ ナイフの押さえプレートのねじが左右均一に締められているかどうか。

③ 試料の状態を確認する。

- ・ 試料の硬さが均一でない→薄切するときの試料の向きを工夫する。
- ・ 試料の固定の有無→化学固定しても良い場合、固定した方が切りやすい。
- ・ デュープフリーザーに保存されていた試料→試料温度が低すぎるとうまく切れないため、薄切する前にチャンバーに入れて20分程まち、試料温度をあげておく。

*その他ボタンの各機能の詳しい説明は機器左側のテーブルにある取扱説明書を参照して下さい。